

公益財団法人 立松財団 御中
様式 2021A1,A2,B

2024年9月30日

所属:名古屋大学大学院工学研究科
化学システム工学専攻

氏名: 朱 力



2024年度助成 研究終了報告書

研究テーマ	超臨界流体を急速混合・析出場とする多元素ナノ合金の作製
研究の結果	<p>本研究では、大量に消費される還元溶液に比してナノ合金の生産量が小さな、<u>非平衡化学的還元法によるナノ合金の作製法</u>に代わって、有機溶媒に対象物を溶解させた後に超臨界 CO_2 に注入し、有機溶媒を超臨界 CO_2 で急速に希釈することにより、過飽和になった溶質を析出させる「超臨界貧溶媒析出法」を用いて、<u>完全溶液の廃液が生じないナノ合金の作製</u>を試みた。</p> <p>まず、試作した装置の健全性を確認するため、超臨界貧溶媒析出法が従来多用されてきたカロテノイドのナノ粒子化を試みた。有機溶媒として液化ジメチルエーテル、溶質として β カロテンを用い、超臨界貧溶媒析出法でナノ粒子化したところ、$40^\circ\text{C} \cdot 12\text{MPa}$ の条件で 58nm の β カロテン粒子の作製に成功し、これにより<u>装置の健全性を確認した</u>。</p> <p>続いて、$\text{Ce}(\text{acac})_3 : \text{PVP}$ 比を $1:0 \sim 1:1$ の間で様々なに変更してた混合物 144mg、$\text{H}_2\text{PtCl}_6 12 \sim 30\text{mg}$ をエタノール 30mL と混合し、これを超臨界 CO_2 に注入してナノ粒子を得た後に、空気中にて 600°C で酸化した。溶液と超臨界 CO_2 の混合を、旋回流による混合場を生み出す Swirl mixer で促進した。<u>XRD, FT-IR, SEM/EDX, XPS 分析</u>により、<u>PVP と acac の殆どは燃焼により除去され、平均径 $16 \sim 17\text{nm}$ の Pt/CeO₂ ナノ粒子を作製できたことを確認した</u>。これにより、<u>廃液が生じないナノ合金の作製が可能になった</u>。</p>
研究発表 (実績)	<p>【査読付き学術論文 1 件】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Hideki Kanda, Li Mei, Tetsuya Yamamoto, Tao Wang, <u>Li Zhu</u>, Preparation of β-carotene nanoparticles in supercritical CO_2 antisolvent precipitation by injection of liquefied gas feed solution, Journal of CO_2 Utilization, 83, 102831, 2024 <p>【学会発表 3 件】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 真部愛也、<u>朱力</u>、王涛、美麗、山本徹也、神田英輝、超臨界貧溶媒析出法による貴金属担持 CeO₂ ナノ粒子の作製、化学工学会第 55 回秋季大会、北海道大学、2024/9/11-13 2. 美麗、<u>朱力</u>、王涛、山本徹也、神田英輝、液化 DME とスワールミキサーを用いた超臨界貧溶媒法による β カロテンのナノ粒子化、化学工学会第 55 回秋季大会、北海道大学、2024/9/11-13 3. Li Mei, <u>Li Zhu</u>, Tao Wang, Tetsuya Yamamoto, Hideki Kanda, Nanoparticle formation of β-carotene by mixing supercritical carbon dioxide antisolvent with liquefied dimethyl ether feed solution using swirl mixer, The 35th International Symposium on Chemical Engineering, Okinawa, Japan, 2024/11/29-12/1

- | | |
|--|---|
| | <p>4. 美麗、朱力、王涛、山本徹也、神田 英輝、液超臨界 CO₂ 貧溶媒法におけるスワールミキサーと亜臨界 DME 溶液による β-カロテンのナノ粒子化、分離技術会年会 2024、松江市くにびきメッセ、2024/12/19-20</p> <p>5. 真部愛也、朱力、王涛、美麗、山本徹也、神田 英輝、超臨界貧溶媒析出法を用いた Pt 担持 CeO₂ ナノ粒子の作製と原料有機物の残留の検証、分離技術会年会 2024、松江市くにびきメッセ、2024/12/19-20</p> |
|--|---|